

DocAve[®] Governance Automation

サービス パック (SP) 5

CU2

リリース ノート

リリース日: 2015 年 3 月 26 日

Governance Automation SP5 CU2 へのアップデートについて

Governance Automation のアップデートを実行する場合は、[Governance Automation ユーザーガイド \(管理者用\)](#) **Governance Automation のアップデート** セクションに記載されたステップを参照してください。

以下のテーブルは、Governance Automation SP5 CU2 の新機能のうち重要な更新部分の詳細となります。

直接アップデートに必要な最低バージョン	Governance Automation SP5 CU2 への直接アップデートを実行するには、Governance Automation SP5 が必要となります。
使用可能な SharePoint バージョン	SharePoint 2013 Online / オンプレミス SharePoint 2010 Online / オンプレミス
その他 AvePoint 製品との依存関係	対応プラットフォーム バージョン間の互換表については、AvePoint ナレッジベース内 Governance Automation, DocAve, and SnapManager for SharePoint Support Matrix (英語) を確認してください。
新規ライセンス要否	×
IIS リセット要否	×
マネージャー サーバーのリポート要否	×
エージェント サーバーのリポート要否	×
アップデート状況の確認方法	Governance Automation のアップデートが成功したかどうかを確認するには、 DocAve コントロール パネル > 更新マネージャー > 履歴の表示 の順に進み、Governance Automation に関連した項目を選択してください。この操作により、必要なマネージャーとエージェントにインストールした更新内容が反映されているか確認することができます。

新機能

プラットフォーム全般に関連する更新

- SnapManager 8.2 for SharePoint に対応しました。
- サイト ポリシー バーが SharePoint 2010 でも使用可能になりました。
- **承認プロセス管理 > 承認プロセスの作成** の **承認者** セクションで、既定の SharePoint グループ およびカスタム SharePoint グループを承認者として指定することが可能になりました。
- SharePoint サイトに組み込むことのできる Governance Automation Web パーツで、ログイン時に規定で表示される画面を、Governance Automation トップ画面以外の Governance Automation ページから選択できるようになりました。

認証

- Active Directory フェデレーション サービスを認証方法として使用すること、およびユーザー選択ウィンドウで使用することが可能になりました。
- ログインしているユーザーのユーザー名をクリックすると表示されるユーザー インターフェイスに、DocAve 6 の認証方法を DocAve Governance Automation に同期して使用することができる **DocAve から認証方法を同期する** が追加されました。

[洗い替え] 機能

- **洗い替えプロファイルの管理** 画面の **洗い替えの設定** セクションの選択肢に、**所有権の洗い替え** を追加しました。所有権の洗い替えでは、指名プロセスを利用して、連絡先に不備があるサイト コレクションを定期的に洗い出し、新しい連絡先を指定することができます。
- オンプレミス版 SharePoint の個人用サイトに対する権限・メタデータ・所有権の洗い替えが可能になりました。
- **個人用のタスク一覧** アプリ パーツに、**個人用洗い替えレポート** タブが追加されました。

サービスおよびサービス管理

- **サービス管理 > ライブラリ / リスト設定の変更・サイト メタデータの変更・サイト コレクション設定の変更** の各サービスで、**SharePoint コンテキストを使用してサービス要求範囲を自動的に設定する** が選択可能になりました。
- **サービス管理 > サイト コレクションの作成** 画面の **サイト コレクション テンプレート** セクションに、チェックボックス **外部データ元からカスタム サイト テンプレートを取得する** が追加されました。このオプションを選択すると、ライブラリもしくは列から既存のカスタム サイト テンプレートを取得することができます。
- **サービス管理 > サイト コレクションの作成** 画面に、**追加のサイト コレクション管理者** 設定欄が追加されました。このセクションでは、1 名または複数名のユーザーを、新規作成するサイト コレクションの管理者として追加することができます。また、ビジネス ユーザーに、**サイト コレクション サービスの作成** リクエスト ページで構成させることも可能です。
- **サービス管理 > サイト コレクションの作成** 画面に、**Governance Automation 権限の付与** **サービス経由でのアクセス権の要求** 設定欄が追加されました。このセクションでは、新規作成されたサイト コレクションにアクセス権リクエストを適用する方法を、**親 Web アプリケーションからアクセス権の要求設定を継承する** と **新規作成したサイト コレクションに、固有の権限の付与サービスを適用する** から選択することができます。

対応フォームおよび対応フォーム管理

- 新規対応フォームを作成する際に、既存の対応フォームをコピーして使用することが可能になりました。
- **対応フォーム管理** から作成できる対応フォームのエンド ポイントとして、**サービスなし** が追加されました。

モニターとレポート

- **モニターとレポート > サイト コレクション レポート** 画面に、**ポリシーの適用** が追加されました。この機能を使用すると、複数のサイト コレクションにサイト コレクション ポリシーを一括で適用することができます。
- **モニターとレポート > サイト コレクション レポート** 画面に、**連絡先の指名** が追加されました。この機能を使用すると、サイト コレクションのメイン連絡先とサブ連絡先を決定する、自動化された指名ブ

プロセスを実行することができます。指名されたユーザーには、サイト コレクションのメイン連絡先を引き受けるかどうかを自ら決定することができる **指名タスク** がアサインされます。メイン連絡先となったユーザーは、指名プロセスの過程で、サブ連絡先となるユーザーを指定することができます。

- **モニターとレポート > サイト コレクション レポート** 画面に、**権限洗い替えの状態・メタデータ洗い替えの状態・所有権洗い替えの状態** の各列が追加されました。これらの列を参照することにより、洗い替え操作の進行状況と結果を確認することができます。
- **所有権洗い替えレポート** インターフェイスのデザインを改善しました。
- **モニターとレポート > サイト コレクション レポート** 画面に **[更新]** ボタンが追加され、手動でレポートを更新することが可能になりました。

バグ修正

- Governance Automation アプリの展開後、SharePoint へのログインを試行するとエラー ページが表示される問題が解消されました。

既知の問題

- Governance Automation のサイドリンク バーの使用時に、ユーザー名とパスワードを再入力する必要があります。これは、ユーザーが Governance Automation と SharePoint サイト両方に対する権限を持っている場合でも実行する必要があります。

対処法: インターネット オプション で、Governance Automation と SharePoint のサイトを **信頼済みサイト** に追加します。

- Google Chrome を使用して Governance Automation Web パーツがインストールされた SharePoint サイトにアクセスすると、Web パーツが表示されません。これは、信頼できる証明書が適用されていないことに起因します。

対処法: Google Chrome で、**設定 > 詳細設定を表示 > HTTPS/SSL** の順番に進みます。**証明書の管理** をクリックします。**証明書** ウィンドウで **インポート** をクリックし、エクスポートされた証明書をインポートします。**信頼されたルート証明機関** に証明書を保存してください。Web パーツの設定を構成する際、Governance Automation の URL が `https://<ホスト名>:<ポート>` の形式になっていることを確認してください。

- 対応フォーム機能は、Internet Explorer 8 では使用することができません。
- コンテンツ移動サービスでセキュリティ トリミングがオンになっており、要求者が移動元サイトにアクセスする権限を持つものの、その中の移動元リストにアクセスする権限を持っていない場合、その移動元リストは要求が実行された段階で移動先のノードにコピーされます。セキュリティ チェックをアイテム レベルにまで適用すると、パフォーマンスに問題が生じます。

対処法: **コンテンツ移動** サービスで、**セキュリティをコピーする** を選択します。この操作により、移行元ユーザーの権限が移行先にコピーされ、要求者は移行先の子ノードに対する権限を持たないこととなります。

- 代替アクセス マッピング (AAM) URL は、サイト コレクションのコンテンツ移動サービス リクエストに対して無効です。これは、SharePoint Online の専用インスタンスが、代替アクセス マッピング URL のユーザー名とパスワードを取得できないためです。

対処法: 要求を送信する前に、DocAve のサイト コレクションの代替アクセス マッピング URL を登録してください。

- ライブラリ / リストを一括で要求する際、CSV ファイルに日本語でテンプレート名が入力され、その後 Governance Automation にインポートされると、Governance Automation のインターフェイスではインポートされたデータが表示されません。これは、CSV ファイルが ANSI を使用してエンコードさ

れていることに起因します。

対処法: CSV をメモ帳で開き、エンコーディングを Unicode に設定して保存します。

- Internet Explorer を使用して Governance Automation Web パーツにアクセスするとエラーが発生する場合があります。

対処法: インターネット オプション > セキュリティ タブ > 信頼済みサイト へ移動し、Governance Automation の URL を信頼済みサイトへ追加します。ポート番号の設定は不要です。

通知

この発行に含まれている資料は AvePoint, Inc に所有または提供され、AvePoint およびそのライセンス提供会社のプロパティであり、著作権、登録商標ならびに他の知的所有権に関する法律によって保護されています。この発行内の登録商標または著作権はいずれも削除または変更することができません。

著作権

Copyright © 2015 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複写、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10-18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

登録商標

AvePoint[®]、DocAve[®]、AvePoint ログおよび AvePoint ピラミッド ログは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Microsoft Office SharePoint Servers 2007/2010/2013、SharePoint Portal Server 2003、Windows SharePoint Services、Windows SQL server、および Windows はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems、Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更

本書は情報の提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

AvePoint Japan 株式会社
〒 108-0074
東京都港区高輪 4 丁目 10-18
京急第一ビル 11 階